

LINバスアナライザ 機能比較表

2012年10月1日
株式会社サニー技研

機能	S810-MP-A2 (2011年11月リリース)	S810-LAS3 (2004年リリース)	S810-LAS2 (2002年リリース)	S810-LAS1 (2000年リリース)
製品構成				
対応OS	Windows XP/Vista/7	Windows 98SE/Me/2000/ XP/7 (32bit)	Windows 98SE/Me/2000/ XP/7 (32bit)	Windows 98SE/Me/2000/ XP/7 (32bit)
マルチチャンネル対応	●(最大6ch)	—	—	—
LINトランシーバ	SN65HVD1195QDRQ1 (テキサスインスツルメンツ)	L9673D (STマイクロ)	L9673D (STマイクロ)	L9673D (STマイクロ)
通信設定				
対応LIN Revision	1.3, 2.0, 2.1	1.2, 1.3, 2.0	1.2, 1.3	1.1, 1.2, 1.3
同期送信モード	●	—	—	—
Sync Break長設定	●	—	—	—
拡張フレーム対応	—	●	●	●
モニタ機能				
最大モニタリング(メッセージ)数	400,000(解析ログ) / 10,000(モニタウィンドウ)	100,000/ 30,000(*1)	1,500	1,500
タイムスタンプ分解能	1μs	1ms	1ms	1ms
タイムスタンプ切り替え機能				
絶対時間/相対時間	●	●	—	—
ログ表示切り替え機能				
ヘッダ+レスポンス/フレーム	●	—	—	—
時系列モニタ				
MIX表示ウィンドウ	●	—	—	—
キャプチャ機能	●	—	—	—
Node別上書きモード	—	●	—	—
モニタログ検索機能	●	—	—	—
RUN中のシグナルモニタ	●	—	—	—
グラフ表示	●	—	—	—
停止後のシグナルモニタ	●	—	—	—
上書き表示	●	—	—	—
グラフ表示	●	—	—	—
物理値変換	●	—	—	—
モニタ開始/停止トリガ設定	●	●(*2)	—	—
リアルタイムロギング機能				
自動ナンバリング	●	—	—	—
シミュレーション機能				
マスターシミュレーション				
設定フレーム数	16テーブル× 64フレーム	16テーブル× 16フレーム	16フレーム	1フレーム
エラーフレーム送信	●(*4)	●(*3)	●(*3)	—
スレーブシミュレーション				
設定フレーム数	64フレーム(*5)	16フレーム	16フレーム	8フレーム
エラーフレーム送信	●(*7)	●(*6)	●(*6)	—
イベント送信				
外部信号トリガ	計画中	—	—	—
イベント検出後のDelay	●	●	●	●(*8)
ログ再生送信	●	—	—	—
RUN中データ更新				
インクリメントモード	●	—	—	—
フィルタ機能				
フレーム表示設定				
ラベル付与	●	—	—	—
カラー設定	●(64フレーム)	●(4フレーム)	●(4フレーム)	●(4フレーム)
ステータス表示機能				
バス負荷表示				
Max/Min値	●	—	—	—
バス負荷グラフ表示	●	—	—	—
ログ解析機能				
シグナル解析	●	—	—	—
シグナルログ生成	●	—	—	—
バス負荷解析	●	—	—	—
擬似ノード				
DLL公開	●	—	●(*9)	—

(*1) Windows 98SE/Meの場合はスラッシュの右側、それ以外の場合は左側になります。

(*2) バッファフル時のモニタ停止のみ設定可能です。

(*3) SynchBreak too Long, SynchBreak too Short, SynchField, Parity, CheckSum, ShortMsgが送信可能です。

(*4) SynchBreak too Long, SynchBreak too Short, SynchField, Parity, CheckSum, ShortMsg, UART Flaming Errorが送信可能です。

(*5) 0x00~0x3Fの全IDに対して設定可能です。

(*6) CheckSum, ShortMsgが送信可能です。

(*7) CheckSum, ShortMsg, UART Flaming Errorが送信可能です。

(*8) 全フレーム共通の設定となります。

(*9) Lin Revision 1.3のみ対応しています。

製品別 LIN Revision 対応表

